

主な新年度予算の事業 ★…会派の重点要望事業 ●…会派要望を行った事業

防 災

Disaster Preparation

★防災協定の具体化に向けた協議会設立へ！  
・地域防災計画進行管理事業（2,251万円のうち12万円）  
●区の防災備蓄食料を2日分へ拡充！  
・備蓄物資整備事業 （2億3,469万円）  
●新木場の物資輸送の力を生かした、本区最大の防災倉庫を整備！  
・（仮称）新木場防災倉庫整備事業 （1,770万円）  
●耐震化率100％に向け、木造住宅の除去費用助成額を倍増！  
・民間建築物耐震促進事業 （1億2,000万円）  
●災害協力隊の防災資機材格納庫の建築確認申請に係る費用を区が負担へ！  
・民間防災組織育成事業 （7,060万円）

子ども・教 育

Children / Education

富岡地区への子ども家庭支援センターの整備！23区最多の区内9か所体制に！  
・（仮称）富岡子ども家庭支援センター整備事業 （7,381万円）  
子どもたちの体験活動充実へ！TOKYO GLOBAL GATEWAYや有明四季劇場に行こう！  
・豊かな体験活動事業 （9,725万円）  
●全区立小中学校等へ校内別室指導支援員の配置！  
・教育支援センター事業 （1億7,926万円）

産業・経済・観光

Industry / Economy / Tourism

★エネルギー価格高騰支援の継続！補助の下限を切り下げ、幅広く事業者の支援へ！  
・エネルギー価格高騰対策支援事業 （7億5,000万円）  
★区内商店の事業と区民のおサイフを後押し！商品券のプレミアム率は30％維持！発行部数7万→8万部へ拡充！  
・商店街連合会支援事業 （7億6,668万円）  
●区内中小店舗の経営・集客向上を支援！上限50万円の補助対象者の拡充！  
・魅力ある商店街創出事業 （2,649万円）  
●中小企業者向け融資制度の創設！貸付金利を2年目まで助成！  
・中小企業融資事業 （1億1,800万円）  
●創業前から事業承継まで、経営相談の強化！相談対応時間の延長や派遣相談の創設！  
・経営相談事業 （8,196万円）  
●江東区をみんなに知ってもらおう！テレビや映画のロケを支援する「フィルムコミッション」設立！  
・江東区観光協会運営補助事業 （2,090万円）

まちづくり・環 境

Town Development / Environment

●遂に着手！地下鉄8号線沿線のまちづくりの更なる推進へ！  
・地下鉄8号線沿線まちづくり推進事業 （5,616万円）  
●新庁舎建設に向けた基金の積み立てはじまる！  
・新庁舎建設等基本積立金 （35億円）  
●若洲公園令和9年4月にリニューアルへ！都内最大の大型遊具を整備！  
・若洲公園整備事業 （Park-PFI 7億4,532万円 大型遊具2億2,487万円）  
●森林環境譲与税を利用した、連携自治体での区民向け「森林体験ツアー」スタート！  
・ゼロカーボン行動変容推進事業 （291万円）

高齢者福祉・障害者福祉

Welfare for Elderly and Disabled Persons

●熱中症対策！65歳以上の高齢者世帯へ、上限10万円のエアコン購入費用を助成へ！  
・高齢者エアコン購入費助成事業 （9,252万円）  
●補聴器の購入費用助成額を4万円以上引き上げ！所得制限撤廃！5年経過で再支給可能！  
・補聴器支給事業 （3,953万円）  
●介護事業者の採用補助に加え、ケアプランデータ連携システムの導入を後押し！  
・介護従事者確保支援事業 （1億1,400万円）

コミュニティ

Community

★地域活性化事業補助金は今年も継続！子どもイベント枠、地域防犯枠を新設！10万円UP！  
・町会自治会活動事業 （3,785万円）

DX

Digital Transformation

●「Smart KOTO」の実現！効率的な庁舎に向けて、オンライン申請手続きの拡大！  
・DX推進事業 （6,461万円）  
①区民にやさしく。令和9年行政手続きオンライン化100％を目指した業務改革！  
②職員が働きやすく。執務室のペーパーレス化やAIなどデジタル技術の活用を図り効率的な職場環境へ。  
本年度は庁舎4階をフリーアドレス化した執務室改革に着手！

トピック3

「区単独児相の設置」から「都区連携による児相整備」へと方針転換

本区はこれまで基礎自治体の強みを生かし、子育て支援や児童虐待の予防、虐待事案への一貫した対応、更なる児童相談体制の充実を目指し、区立児童相談所の設置に邁進してきた処です。  
しかしながら、本年の臨時の厚生委員会にて、区児相の設置から都区連携による児相整備へと方針転換がなされとの報告がありました。  
今後は本区のこれまでの基本計画素案等を踏まえた協議が行われていきますが、本区のこれまでの方針については概ね担保されているとのことでした。  
昨今の社会情勢の中で、人材確保や人材育成の面で不確定要素を抱えながらも、理想の児童相談体制を安定的に構築していかなければならず、何よりも利用する「子ども」たちのことを第一に考えると、苦渋の決断もあったかと思えます。  
本区が持つ多様な関係機関とのネットワークと東京都が持つ高い専門性を融合させ、先例のない新たな児童相談体制の構築を行うとのことで、我が会派としてはこの決断を応援していく所存です。

トピック4

若洲公園のリニューアルに着手！

若洲公園は、開園から30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、リニューアルのタイミングを迎えました。  
今回、若洲公園をより魅力的な公園にするため、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、官民が連携して整備に取り組みます。  
また、公園内には別途、令和9年4月のオープンにあわせて、リニューアルのメインテーマである「親子で過ごす江東区版ゼロカーボンパーク」を基に、未来に向けた新たなシンボルとして、都内最大級の大型遊具を若洲公園内に整備します。